

宇奈月ダム水環境改善事業を推進

富山県下新川郡宇奈月町

1. 事業の概要

1) 目的

黒部川の愛本堰堤下流では、発電取水等に起因する減水や扇状地地形に起因する瀬切れが発生しており、生態系等の河川環境の悪化が懸念されることから、河川の維持流量の確保を図り水環境の改善を積極的に推進します。

2) ダム諸元

- ダム形式：重力式コンクリートダム
- ダム高：97m
- 堤体積：510千 m^3
- 総貯水容量：24,700千 m^3

2. 事業の経緯

- 昭和13年度 ダム管理に移行
- 平成15年度 ダム水環境改善事業に着手

3. 平成16年度の要求内容

宇奈月ダムの利水容量を活用し渇水時の河川流量の増加を図り、魚類等の生態系に配慮した水環境の改善を図ります。



堀之内消流雪用水導入事業を完成 ～ 冬期の安全で快適な暮らしを実現～ 信濃川水系魚野川（新潟県北魚沼郡堀之内町）

1．事業の概要

1) 目的

北魚沼郡堀之内町は、年平均の最大積雪深は2 m以上にも達し、日最大降雪深が1 m以上を記録することもある新潟県内でも屈指の豪雪地帯です。これまで雪処理のため、市街地を流れる与越川・旧与越川を雪捨て場として使用してきましたが、冬期の流量が少ないため投雪した雪が堆雪して浸水被害が生じていました。

このため、浸水被害を防止し冬期間の生活環境の改善を図ることを目的として、冬期間水量の豊富な魚野川から与越川・旧与越川に消流雪用水を導水する消流雪用水導入事業を実施しています。

2) 全体計画

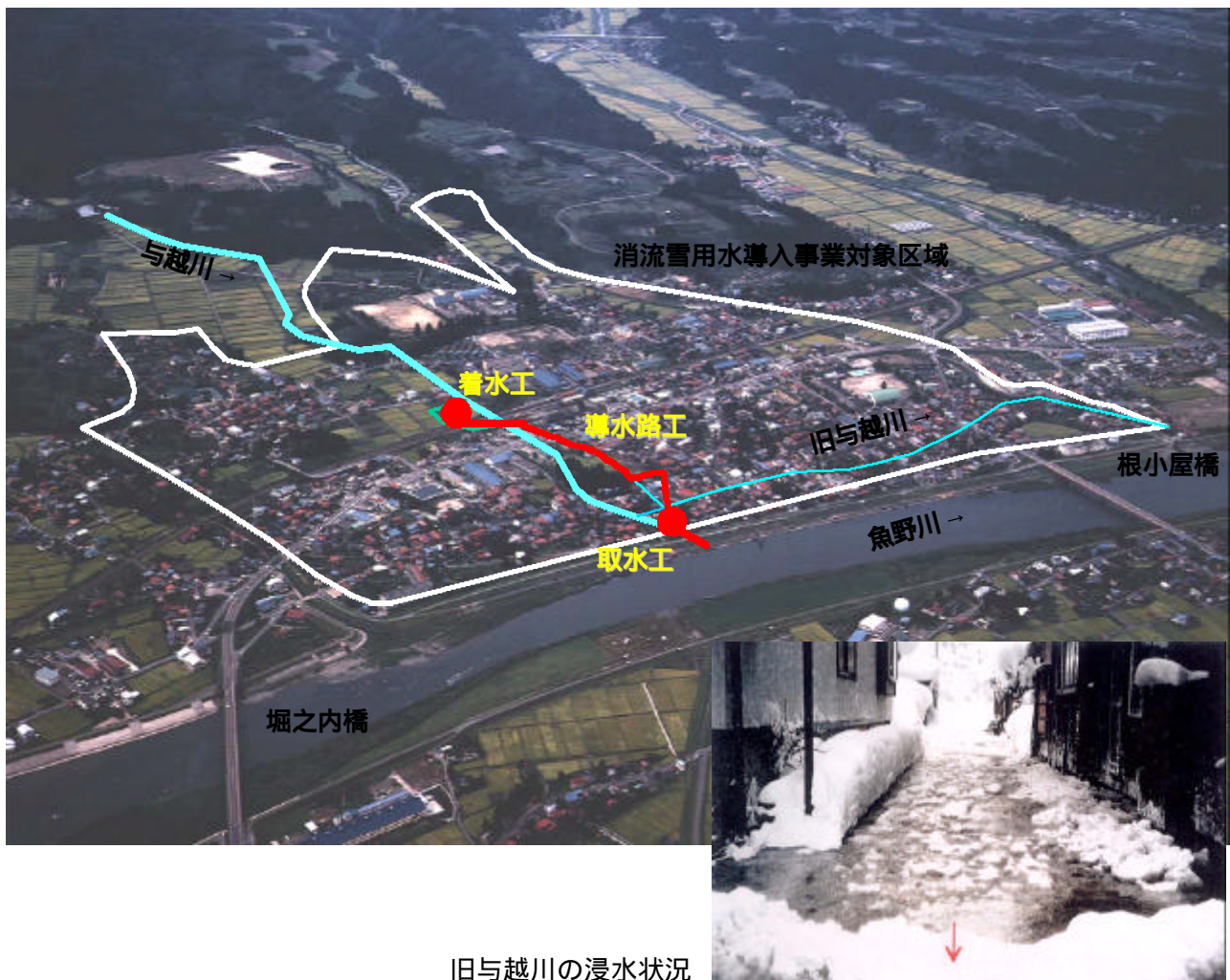
取水工、ポンプ設備、導水路工 等

2．事業の経緯

平成13年度の着手以降、取水工、導水路工等を実施しています。

3．平成16年度の要求内容

平成16年度は、ポンプ設備、導水路工を実施し、一連の整備を完成させます。



かわきたまちみずべ がっこう
川北町水辺の楽校プロジェクトの整備推進
～豊かな自然を学習の場として活用～
てとりかわ のみぐん かわきたまち
手取川水系手取川（石川県能美郡川北町）

1．事業の概要

1) 目的

手取川は豊かな自然環境が広がっており、近隣の小中学校の野外学習の場や保育所の散策など、地域に広く利用されていることから、平成9年1月に「水辺の楽校」として登録し、豊富な自然を活かした身近な自然教育の場とするため、「自然の理解を育む」、「生きる力を育む」、「地域への愛着を育む」を基本理念として、整備計画を策定し、川北町と協力しながら整備を行っています。

2) 全体計画

高水敷整正、アクセス階段、学習広場整備等

2．事業の経緯

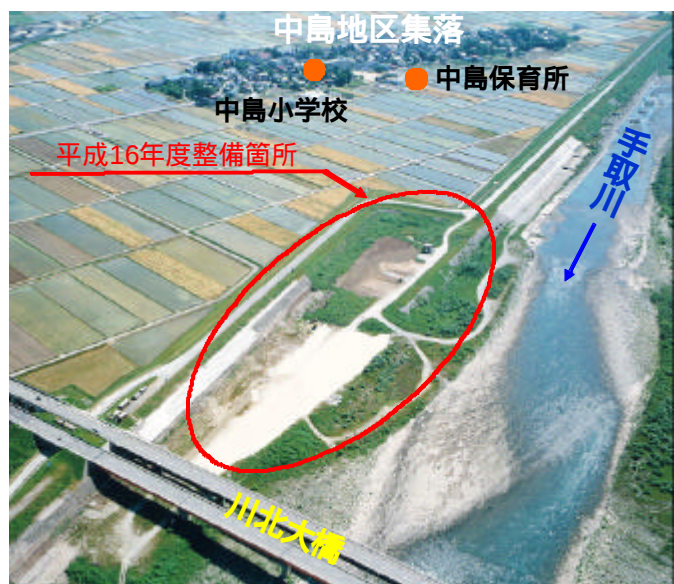
平成9年度より整備に着手し、川北小学校、川北中学校に隣接した地区の整備を平成13年までに完成しています。平成14年度からは中島小学校に隣接した地区において、整備を推進しています。

3．平成16年度の要求内容

平成16年度は、高水敷整正等の基盤整備を推進します。



中島小学校の児童たちによる野外学習状況



平成16年度整備箇所



整備済み地区での利用状況(左)魚のつかみ取り(右)園児のお花見

郷本海岸環境整備事業の完成

新潟県三島郡寺泊町

1. 事業の概要

1) 目的

郷本海岸は、新潟北沿岸の中間に位置し、背後には丘陵地が迫っており沿岸に沿って走る国道402号は「日本海夕日ライン」として脚光を浴びている。

当海岸は夏季には県下各地はもとより関東圏からの海水浴客が大勢訪れ、小中学生の臨海学校も開かれています。冬期風浪により年々汀線の後退が見られ、残されたわずかな砂浜を利用している現状のほか、越波が国道を越え、人家に影響を与えています。

そこで、当海岸では、景観や海水浴等の利用に配慮した離岸堤、緩傾斜護岸、養浜工を整備してきました。安全で人々が利用しやすい海岸となるよう平成16年度に環境整備事業を完成させます。

2) 全体計画

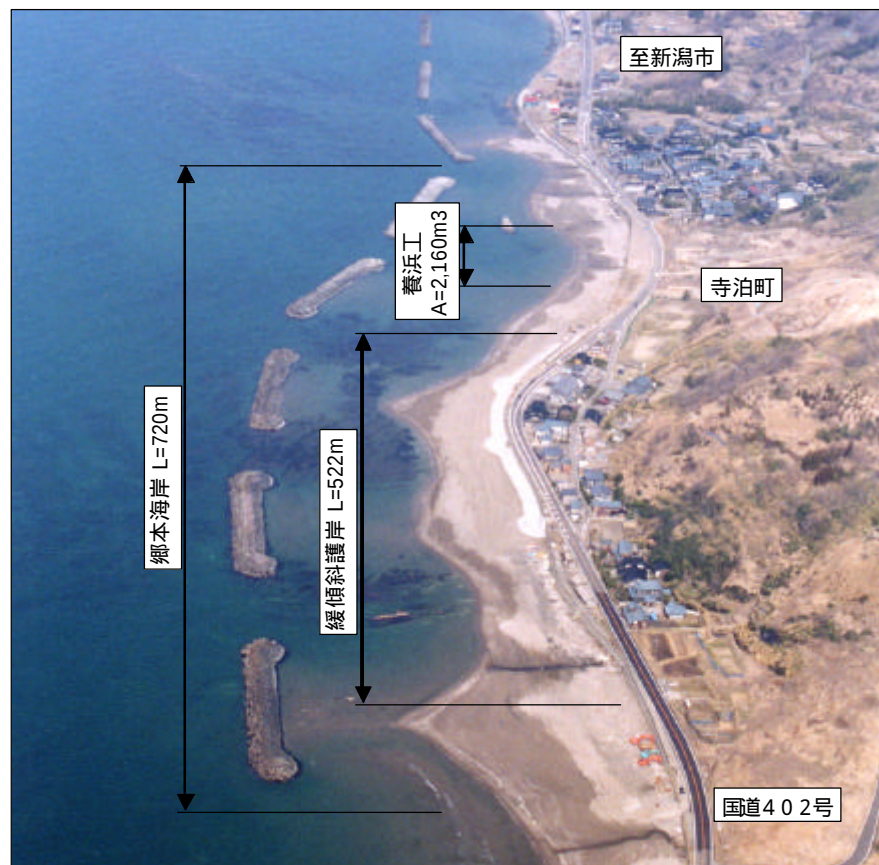
事業期間：平成2年度～平成16年度

事業延長：720 m

全体計画：離岸堤 5基、緩傾斜護岸 522 m、養浜工 2,160 m³

2. 平成16年度の要求内容

緩傾斜護岸を実施し事業を完成させます。



平成15年3月撮影

さいがわ 犀川河川環境整備事業の完成

石川県金沢市

1. 事業の概要

1) 目的

犀川の中流域は市街地の貴重なオープンスペースであり、市民の憩いの場所として、さらに、観光都市金沢にふさわしい河川環境の創出が必要です。

近年のバリアフリー化への対応として、堤防の既設斜路工を改良することにより、河川敷へのアクセスを改善します。また、既設の落差工を多段式に改良することにより、緩やかな流れを有し、魚の遡上にも配慮された河川環境の創造を推進します。

2) 全体計画

- 実施内容 階段、斜路工 11箇所、落差工 2箇所
- 事業期間 平成8年度～平成16年度

2. 平成16年度の要求内容

斜路工 3箇所を実施して事業を完成させます。



金沢市法島町地先の斜路工改良状況（平成14年4月撮影）



金沢市中川除町地先の落差工改良状況（平成15年4月撮影）

一般国道156号 ^{かたはらまち}片原町電線共同溝の整備 ^{たかおか}富山県高岡市

1．事業の概要

片原町電線共同溝は、「伝統と歴史のまち高岡」にふさわしい道路景観の向上することを目的とした延長約640mの電線類地中化の事業です。

また、地中化に併せ、歩行空間のバリアフリー化を推進します。

2．事業の経緯

本事業は、一般国道156号で整備を進めてきた電線共同溝事業の延伸として、平成14年度に事業化し、平成15年度までに上下線合わせて約360mの電線類地中化整備を行っています。

3．平成16年度の実施内容

平成16年度は、上下線合わせて延長約660mの電線類を地中化を行い、併せて路面電車の停留場等のバリアフリー化とアーケード部の景観向上を図ります。



一般国道156号高岡市片原町地区の道路景観現状（高岡市街地から砺波方面）

一般国道415号 ^{ちゅうおうまち}中央町^{あいろ}拡幅の部分供用 富山県氷見市 ^{ひみし}

1. 事業の概要

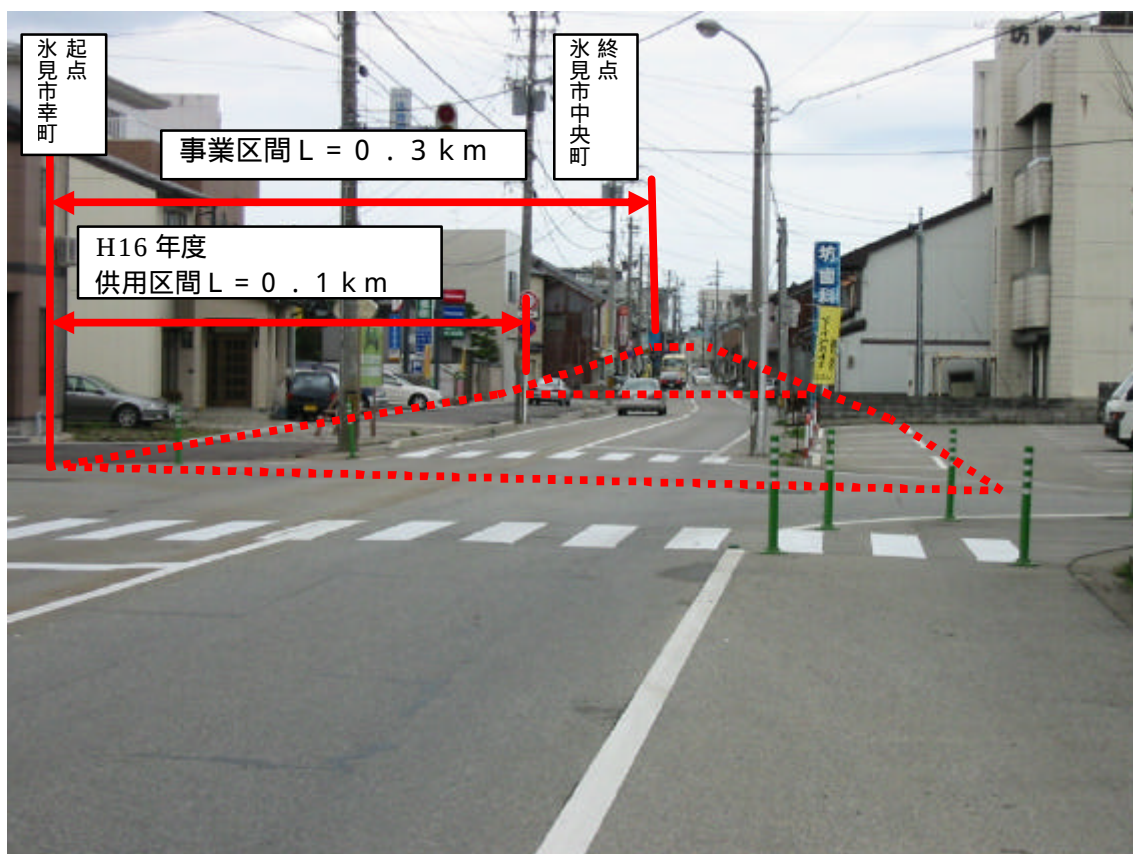
^{ちゅうおうまち}中央町^{あいろ}拡幅は、氷見市の市街地において、幅員狭小で隘路となっている区間を解消し、シンボルロードとして街並みに配慮すべく電線共同溝を設置するとともに、事業中の^{のうき}能越自動車道氷見IC(仮称)から氷見市中心部や氷見漁港へのアクセス道路として、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長0.3kmの事業です。

2. 事業の経緯

本事業は、平成10年度に事業化し、平成10年度に用地買収着手しています。

3. 平成16年度要求の概要

平成16年度は、道路改良工事などに着手し、氷見市幸町地区^{ひみしさいわいちょう}L = 0.1kmを部分供用します。



終点部より起点方向を望む

生活の道ゾーン とよてるいりふね 豊照入舟地区 新潟県新潟市

1. 事業の概要

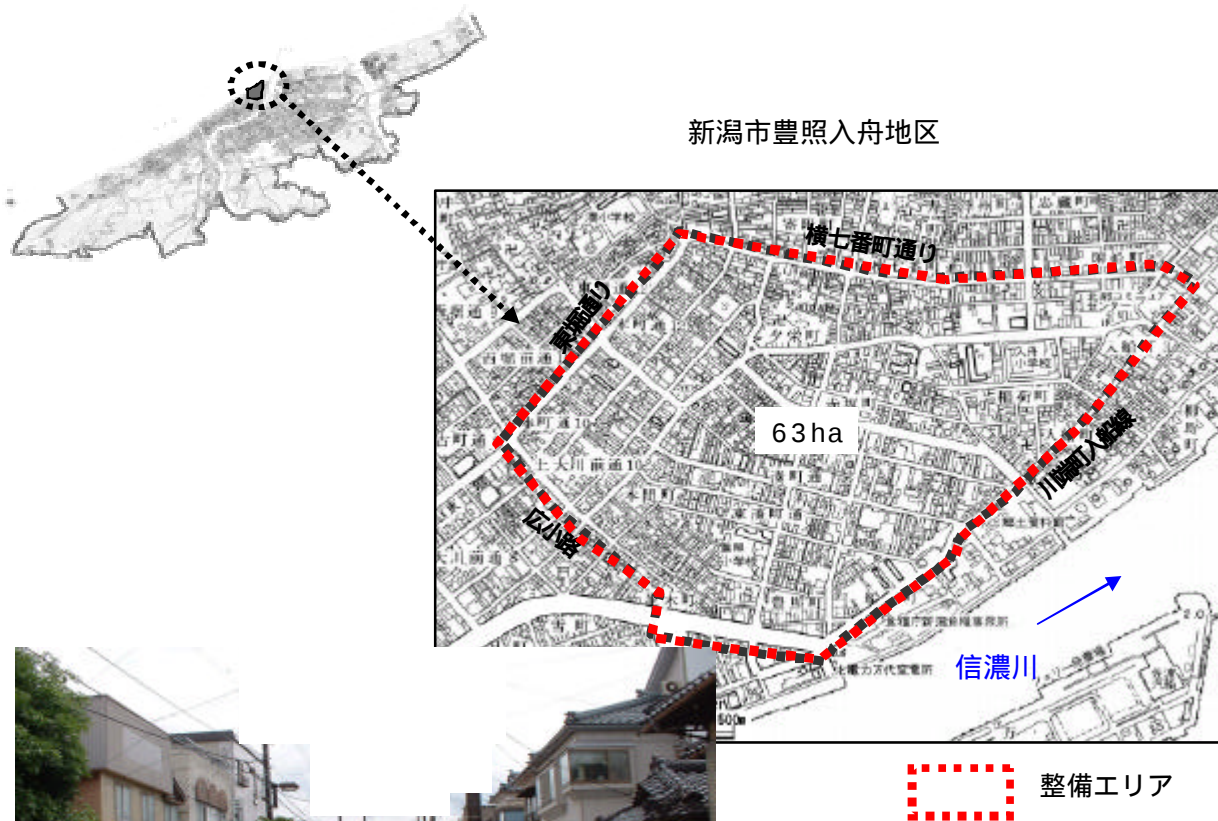
身近な生活道路において、車よりも歩行者・自転車の安全・快適な利用を優先し、地域の方々と協働で質の高い生活空間を創出する「生活の道ゾーン」として、先導的な取組を進めます。

2. 事業の経緯

平成15年6月30日に、「生活の道ゾーン」として地区登録されています（全国42地区）。今年度、地域の方々と協働して計画づくりを行います。

3. 平成16年度要求の概要

平成16年度は、交通安全の確保と生活環境の質の向上に向け整備を促進します。



整備イメージ（クランクにより車の速度を抑制）

信濃川左岸緑地の整備推進

新潟港：新潟県新潟市

1. 事業の概要

港に親しめる憩いの場を形成するとともに、河川事業により整備された堤防（やすらぎ堤）との連続性を確保することにより、良好な親水空間を提供するものです。

また、当緑地整備区間は、新潟市郷土歴史博物館（仮称）が整備中であることから、来訪者に対して良好な水辺空間を提供するため、早期完成を目指した整備を進めています。

2. 事業の経緯

平成元年に事業に着手し、平成 10 年 3 月に一部供用を開始しました。引き続き、未供用部分の早期供用を図るため、護岸、遊歩道等について整備を進めていきます。

3. 平成 16 年度の実施内容

平成 16 年度開館を予定している新潟市郷土博物館前面について、護岸の整備推進を図ります。



信濃川左岸緑地周辺の現況（平成 14 年 10 月撮影）

朝日町中央地区市街地再開発事業の補助完了

新潟県新井市

1．事業の概要

本地区は、ＪＲ新井駅前を中心とした商店街の中心部にあり、老朽化した短冊型の店舗併用住宅が密集して立ち並ぶ路線型商店街を形成しています。近年、消費・経済活動の変化や景気の低迷等により空店舗の発生や、人口の減少など、「空洞化」が進んでいます。

このため、商業施設、住宅及び公共施設を配置し、都市基盤の再整備と防災・克雪に対応した都市空間の整備により、市民の生活拠点としての機能の充実を図ります。

2．事業の経緯

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ○平成８年度 | 朝日町街づくり委員会発足 |
| ○平成９年１０月３０日 | 朝日町中央地区街づくり期成会発足 |
| ○平成１１年１０月８日 | 朝日町中央地区再開発準備組合発足 |
| ○平成１２年６月８日 | 第一種市街地再開発事業、高度利用地区の都市計画決定 |
| ○平成１２年１２月６日 | 保留床取得会社設立 |
| ○平成１５年３月２６日 | 建築工事着工 |

3．平成１６年度の実施内容

第２街区のデイサービス・公営住宅棟及び第１街区の第四銀行棟を完成し、事業完了を目指します。



イメージパース

金沢西部第二土地区画整理事業(海側幹線)の補助完了 石川県金沢市

1. 事業の概要

1) 目的

本地区は金沢市街地より北西約5.5kmに位置し、地区周辺は金沢西部地区及び鞍月地区の土地区画整理事業が施行中で国道8号、北陸自動車道、金沢港、県庁舎の移転等があり、現在事業中の金沢外環状道路(海側幹線)、西部緑道、畝田放水路等の整備に併せ、早急な都市整備が望まれている地域です。

このため土地区画整理事業により、道路・公園を整備し、県都金沢の新しい副都心として市街地整備を行い有効な土地利用を図ります。

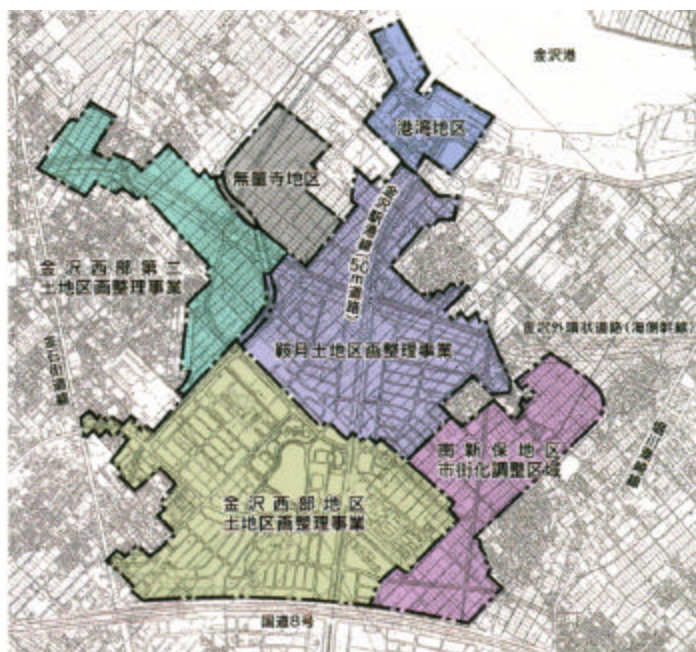
2. 事業の経緯

- 平成8年度 まちづくり基本調査
- 平成9年度 区画整理事業調査
- 平成11年6月12日 都市計画決定(告示日)
- 平成11年4月23日 事業計画決定(公告日)
- 平成11年7月16日 当初事業計画承認
- 平成12年4月 本工事着工
- 平成15年3月12日 最新の事業計画変更

3. 平成16年度の実施内容

移転補償や都市計画道路福久福増線(海側幹線)の道路築造及び舗装工事を行うと共に、確定測量を行い、事業完了を目指します。

地区名称	事業年度	施行者	面積
金沢西部地区	S62~H13	石川県	101ha
鞍月地区	H2~H13	組合	73ha
金沢西部第二地区	H10~H17	石川県	35ha
無量寺地区	—	—	約20ha
南新保地区	—	—	約50ha
港湾地区	—	—	約20ha
合計			約300ha



「野生ゾーン」の事業促進 えんじきめうりよう 国営越後丘陵公園 新潟県長岡市

1. 事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で初めての国営公園です。

雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

【位置、面積】 新潟県長岡市、約400ha

【全体構成】 「健康ゾーン」(約120ha)、「野生ゾーン」(約180ha)、
 「文化ゾーン」(約100ha)の3つのゾーン構成で整備

2. 事業の経緯

平成元年度に事業を着手し、平成10年7月の29ha開園以来、平成15年7月までに「健康ゾーン」の119.6haを開園しています。入園者は、年々増加しており、平成15年7月末現在で、延べ来園者数が130万人が訪れています。

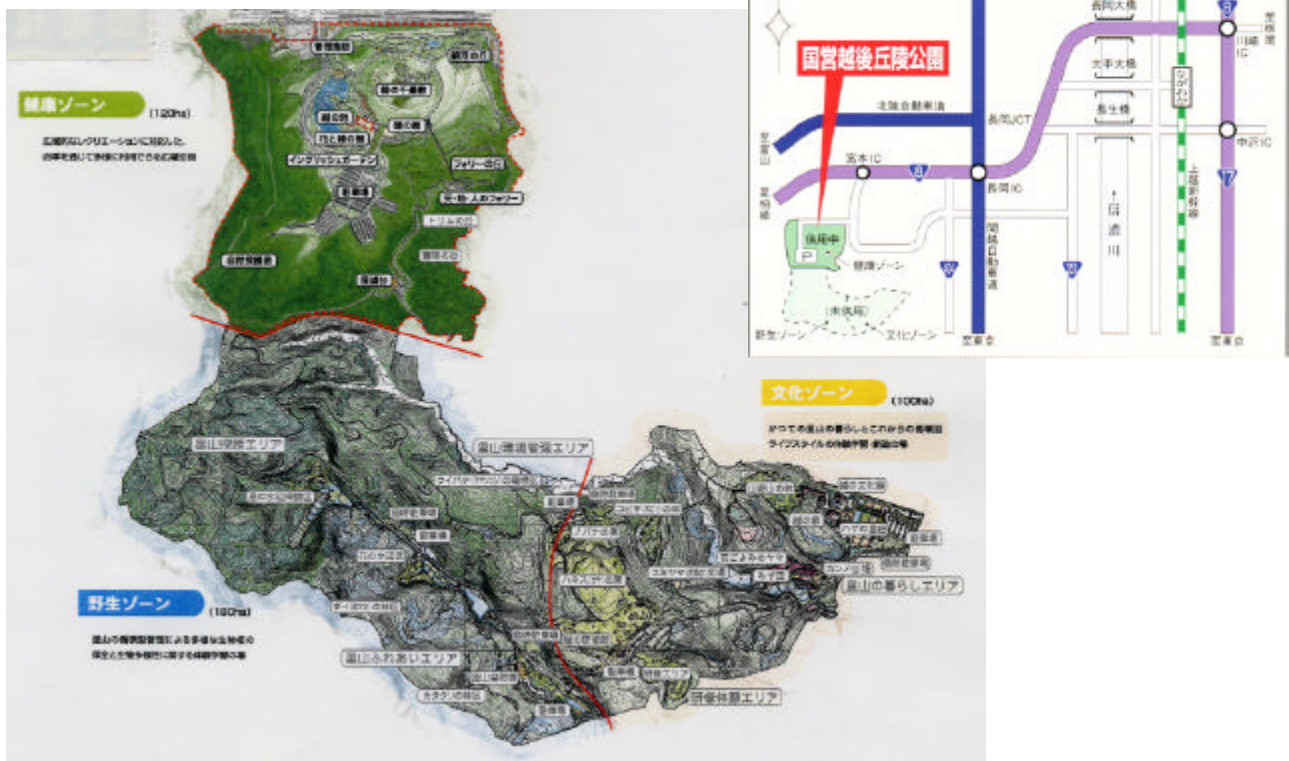
また、平成15年6月に、「花と緑の館」を供用して「健康ゾーン」が概成しました。

なお、平成15年度には、「野生ゾーン」の早期供用開始を目指し、管理用道路や環境整備に着手しました。

3. 平成16年度の実施内容

「健康ゾーン」の利用促進に向けて、安全で快適な利用「野生ゾーン」は、雪国里山の自然を活かし、自然観察等を通じて、自然を楽しみ、体験学習を行う場として、3箇所のエリアに分けて整備を行います。

平成16年度は、自然と楽しみながら、里山の体験学習ができる「里山ふれあいエリア」の整備を促進をします。また、より安全・快適に利用して頂くため、適切な維持管理を行うとともに、四季を通じてイベント等を開催していきます。



公園計画図(「健康ゾーン」の赤の波線は、開園エリア区域)

港まち新湊の魅力あふれるまちづくりを推進

富山県新湊市（新湊地区 まちづくり総合支援事業）

1．事業の概要

新湊市は古くから貿易や漁業で栄えた歴史のある町ですが、中心部の人口減少と高齢化が進んでいます。

そこで、水と緑の魅力あふれるまちづくりを目指し、市中心部を流れる内川に架かる橋梁の景観整備や、内川^{うちかわ}沿いを楽しく散策できる道路整備をするなど、地域住民や訪れる方々の憩いの場を創出します。

2．事業の経緯

平成13年度に事業に着手し、現在、内川周辺の道路整備を行っています。

3．平成16年度の実施内容

平成16年度は、内川遊歩道、ポケットパーク、海王丸交流センターの情報発信板等の整備を推進します。



内川周辺道路の現況



内川に沿った遊歩道整備イメージ

總持寺^{そうじじ}周辺地区^{もんぜん}の街なみ環境整備の推進

石川県^{いしかわけん}門前町^{もんぜん}（街なみ環境整備事業）

1．事業の概要

門前町の總持寺^{そうじじ}周辺地区^{もんぜん}において、曹洞宗の大本山總持寺祖院^{そうじじそいん}の門前にふさわしい伝統的な街なみの保全整備や、老朽化した下排水施設整備により、住環境の改善を行います。また、安全・安心・快適なまちづくりを目的として、耐震性防火水槽の整備を行い消防水利未整備区域の解消を図ります。

2．事業の経緯

- 平成14年度 整備方針策定
- 平成15年度 新規事業採択

3．平成16年度の実施内容

總持寺^{そうじじ}、門前^{もんぜん}高校^{くしひ}、櫛比^{くしひ}小学校及び役場を結んでいる道路等の整備・美装化、下排水整備を行います。また、地区住民や児童生徒の休憩・憩いの場が不足しているため、總持寺^{そうじじ}の門前にふさわしい、潤いのある空間の創出のために小公園等を整備します。

<位置図>



<總持寺祖院>



街なみ環境整備イメージ

七尾第2 地方合同庁舎

- 環境に寄与する官庁施設整備 -

1. 事業の目的

七尾市内に分散している七尾法務支局と七尾税務署は、行政需要の変化等による狭隘化及び経年による庁舎の老朽化が進み、行政サービス及び業務効率の低下が生じている状況です。これを解消するため、これらの施設を集約・立体化し、合同庁舎として整備を行います。

庁舎は、国道及び臨港線に挟まれ交通の利便性が高く、輪島方面、港湾地区に隣接する既存国有地の一画に建設を行うものであり、地球環境に配慮したグリーン庁舎として整備を行います。

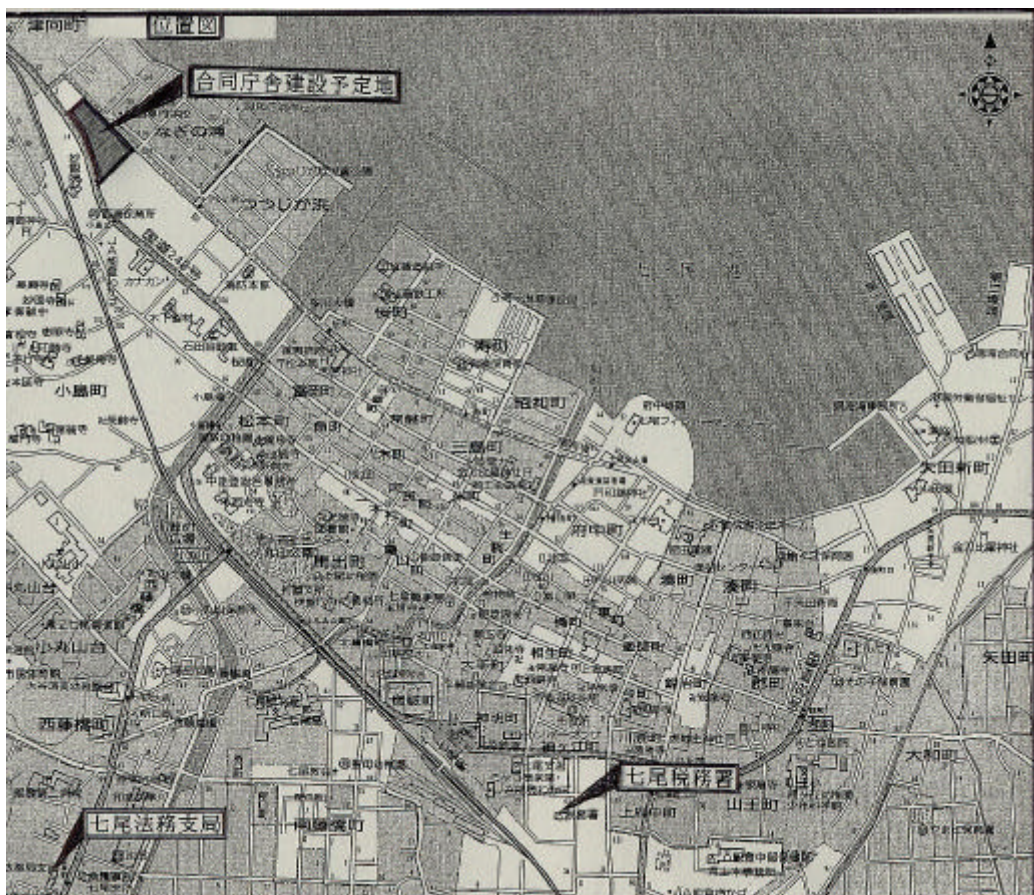
2. 事業の経緯

平成14年度 設計着手

平成15年度 工事着手

3. 平成16年度の要求内容

引き続き工事を推進し、平成16年度に完成させます。



新潟第2 地方合同庁舎

- まちづくりに寄与する官庁施設整備 -

1．事業の目的

新潟市内にある国の機関の多くが昭和39年の新潟地震の直後に建設されたため、現在では建設後30年以上経過し、老朽化がそれぞれの施設で同時に進行しています。また、行政需要の変化、増大によって狭隘化が進んでおり、北陸の中核都市の一つである新潟市内各官署の行政サービスの低下は、より広域への影響があります。

この問題を解決し、さらに、集約化による各官署間の相互連携強化、行政サービスの利便性の向上、災害時の連携による災害対策の迅速化、さらには、近接する県庁・業務施設・商業施設と一体となった複合的な都市拠点を形成することにより、まちづくりに寄与する官庁施設整備を目指し、新潟第2 地方合同庁舎の新営を実施します。

2．事業の経緯

平成8年度	用地取得開始
平成11年度	用地取得完了
平成13年度	全体配置計画・A棟設計
平成14年度	工事着手

3．平成16年度の要求内容

新潟第2 地方合同庁舎は全体で5棟の庁舎からなっており、平成16年度は、このうち北陸地方整備局及び新潟地方法務局バックアップセンターが入居するA棟について引き続き工事を推進します

